

腎臓内科の紹介

令和6年度より、胆沢病院の標榜診療科に「腎臓内科」が新しく加わりました。

腎臓内科について、簡単にではありますが、紹介したいと思います。

◆ 診療スタッフ

腎臓内科医長兼総合診療科医長 菊池 調 (きくち やわら)

所属学会等 日本内科学会 (日本専門医機構認定内科専門医)

日本腎臓学会 (腎臓専門医)、日本透析医学会、日本高血圧学会

◆ 外来診察日 毎週月、火曜日



◆ 診療内容・専門分野

主な診療領域は、検尿の異常 (蛋白尿・血尿など)、腎疾患 (糸状体腎炎、ネフローゼ症候群、多発性嚢胞腎、ファブリー病など)、全身性疾患 (心疾患、血管炎、膠原病、血液疾患、悪性腫瘍など) に伴う急性・慢性の腎障害、水電解質・酸塩基平衡異常、生活習慣病 (糖尿病・高血圧など) や加齢に伴う慢性腎臓病 (CKD)、腎代謝療法を含む腎不全医療などです。

◆ 目指す診療内容

あらゆる腎疾患の早期診断を行うとともに、重症化を予防するため患者さんの個別のリスクに応じて科学的根拠に基づいた最新の治療を提供します。

必要に応じて、「腎生検」 (岩手医科大学腎高血圧内科へ紹介) を実施して確定診断を行い、精度の高い診断に基づいた最適な治療方針を提案します。

岩手県立胆沢病院の基本理念

<基本理念>

私たちは、地域の人々の健康と命を守るため、愛を持って地域医療に貢献します。

<行動指針>

- 1) 患者さんと家族、私たちとの協働医療 (専門性を結集した多職種による、患者参加型のチーム医療)
- 2) 患者さんの背景・価値観に配慮した医療
- 3) 患者さんが安心できる、良質で安全な医療
- 4) 地域の医療・福祉・行政との連携と機能分担
- 5) 次の世代を担う優れた医療人の育成

<病院運営方針>

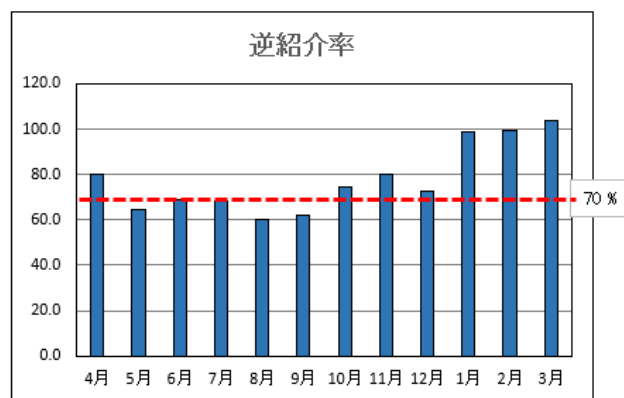
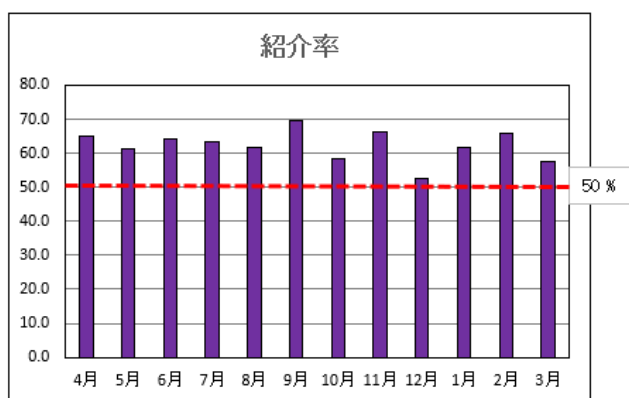
- 1) 救急医療を含む急性期医療
胆江保健医療圏の基幹病院として、24時間対応の救急医療など、圏域の急性期医療、高度・専門医療を担います。
- 2) がん医療
地域がん診療病院として、がん診療連携拠点病院 (県立中央病院) と連携し、手術・化学療法・放射線治療・緩和ケアなど専門的ながん医療の提供や、がん患者に対する相談支援・情報提供を行います。
- 3) 地域医療支援
地域医療支援病院として、紹介・逆紹介の推進、地域医療機関との共同診療、地域の医療従事者・地域住民に対する研修・教育を行います。
- 4) 災害医療
地域災害拠点病院として、災害時の傷病者の受け入れや地域医療機関への支援、DMATチームの派遣を行います。
- 5) 臨床研修、スタッフ教育
臨床研修指定病院・各種学会認定研修施設として、次の世代を担う医療従事者を育成するとともに、病院スタッフの研鑽に努めます。
上記5項目の実践・充実のため、誇りを持てる職場づくりと健全な病院運営に努めます。

令和5年度 紹介率・逆紹介率の状況

当院は、平成26年12月1日付けで「地域医療支援病院」の承認を受けております。患者に身近な地域で医療を提供されることが望ましいという観点の元、地域の中核病院として各医療機関と適切な連携を図っていくよう努めております。そうした中で、紹介率、逆紹介率は、第一線の地域医療を担う、かかりつけ医を支援する一指標として用いられており、地域医療支援病院の承認要件ともなっております。

皆様のご協力のおかげで、令和5年度の紹介率は61.2%、逆紹介率76.9%で承認要件（紹介率50%以上かつ逆紹介率70%以上）を満たすことができました。

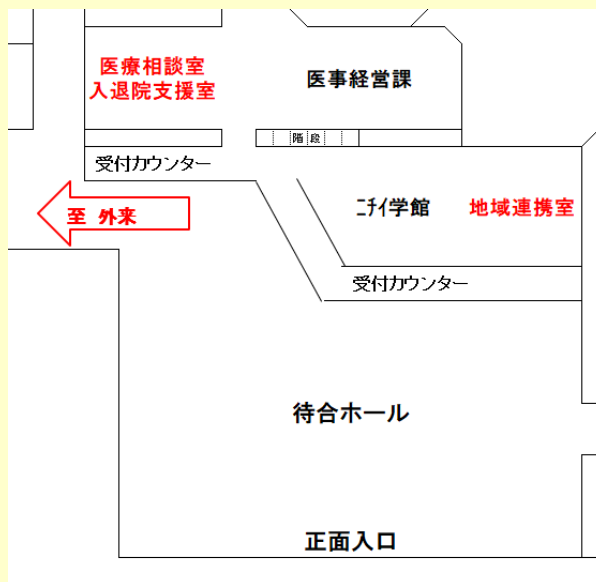
R5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
紹介率	65.0	61.3	64.1	63.5	61.9	69.5	58.5	66.1	52.6	61.5	65.8	57.5	61.2
逆紹介率	79.8	64.4	69.1	68.0	60.0	62.0	74.8	80.1	72.7	99.0	99.4	103.9	76.9



改修工事により連携室等の場所が変わりました

胆沢病院の改修工事により、地域医療福祉連携室、医療相談室および入退院支援室の場所が、右図のとおりに移動しました。

今後ともよろしくお願いたします。



岩手県立胆沢病院 地域医療福祉連携室

〒023-0864

岩手県奥州市水沢字龍ヶ馬場61番地

TEL 0197-24-4121

FAX 0197-24-4180 (紹介センター専用)